

薬学部

平成31年4月1日現在

	卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)	教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)	入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)
学部全体	<p>薬学部は、「薬学は医療を通じて人類の健康に貢献する総合科学である」との理念の下に、薬剤師の職能および医薬品の創製・保健衛生に関わる基本知識を習得させるとともに、生命科学を基盤とする高度の“薬学的”思考力と倫理観を備えた創造性豊かな人材を育成することを目的としています。</p> <p>このことを踏まえ、本学が定める学修成果を達成すべく編成・実施された教育課程を学修し、所定の単位を取得したものに本学部の学位を授与します。</p>	<p>体系性:各分野の学問体系に従った教育課程を編成しています。</p> <p>段階性:低学年次で基礎科学的科目を学修し、徐々に薬学的応用科目へと遷移し、高学年次では高度な薬学的実践科目が学修できるように編成しています。</p> <p>個別化(進路への対応):3年次より研究室配属を行い、個々の特性に応じた高度な学習が可能ないように編成しています。</p>	<p>薬学部では、“薬学は医薬を通して人類の健康に貢献する総合科学である”との理念のもと、医薬品の創製・生産・管理、環境・保健衛生及び薬剤師の職務等に関わる基礎知識を習得させ、生命科学を基礎とする高度な創薬・育薬研究能力と倫理観を備えた創造性豊かな人材を育成することを目指しています。将来の薬学を担う人材を育成するため、本学部では次のような人を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ “くすり”に関わる職業に魅力を感じ、自らその仕事に携わりたいという希望や意欲を有する人 ・ 困難を克服する精神力や生命に対する倫理観、マナーを育ていける人 ・ 高等学校までの履修科目の基礎事項を理解し、その上で、化学、物理、生物の一つあるいは複数の科目において特に優れた力を有する人 ・ 情報収集、情報発信、コミュニケーションの手段としての情報科学や外国語能力の向上のための努力を持続できる人 ・ 高等学校までにクラブ活動、生徒会活動およびボランティア活動など様々な活動に参加したり、あるいは自らの目標や考えの基に何かに取り組んだり、趣味を楽しんだりした経験を有する人 ・ 学部卒業後は、薬学の様々な領域で指導的立場に立って社会に貢献しようという意欲を有する人
薬学科	<p>豊かな人間性、柔軟な社会性、医療における倫理観をもち、医療系薬学及び衛生・社会系薬学を中心とした応用的学問を修得し、高度化する医療において薬物治療の指導者、及び疾病の予防及び治療に貢献する人材の育成を目指しています。</p> <p>このことを踏まえた薬学科の学修成果を達成すべく編成された教育課程を学修し、所定の単位を取得した者に学士(薬学)の学位を授与します。</p>	<p>体系性:各分野の学問体系に従った教育課程を編成しています。</p> <p>段階性:低学年次で基礎科学的科目を学修し、徐々に薬学的応用科目へと遷移し、高学年次では医療薬学的実践科目が学修できるように編成しています。</p> <p>個別化(進路への対応):5年次に薬剤師実務の学修のための長期実習実施するだけでなく、3年次前半より研究室配属を行い、研究マインドの修得も可能ないように編成しています。</p>	<p>薬学部の理念・目標に基づき臨床に関わる薬学を担う人材を育成するため、薬学部の方針に加え、薬学科では次のような人を求めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 “薬剤師”という職業に魅力を感じ、卒業後は医療や臨床薬学研究など様々な薬学領域で指導的立場に立って社会に貢献しようという意欲を有する人 2 薬剤師として患者様の気持ちや考えを理解できるように人間愛や倫理観、協調性を育ていける人
創薬・生命薬科学科	<p>独創的な発想力、探求心、創薬マインドを持ち、物理系薬学、化学系薬学、生物系薬学を中心とした広い知識をもとに創薬科学や生命薬科学分野の研究に寄与できる人材の育成を目指しています。</p> <p>このことを踏まえた創薬・生命薬科学科の学修成果を達成すべく編成された教育課程を学修し、所定の単位を取得した者に学士(創薬科学)または学士(生命薬科学)の学位を授与します。</p>	<p>体系性:各分野の学問体系に従った教育課程を編成しています。</p> <p>段階性:低学年次で基礎科学的科目を学修し、徐々に薬学的応用科目へと遷移し、高学年次では研究室での特別実習により最先端の研究成果に触れることが出来るように編成しています。</p> <p>個別化(進路への対応):3年次前半より研究室配属を行い、レベルの高い研究活動体験が可能ないように編成している一方で、医療現場での薬剤師の役割、医薬品の使われ方を理解した上で創薬科学を理解出来るように配慮しています。</p>	<p>薬学部の理念・目標に基づき創薬や育薬に関わる薬学を担う人材を育成するため、薬学部の方針に加え、創薬・生命薬科学科では次のような人を求めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 “研究”や“開発”に魅力を感じ、卒業後は創薬・育薬や生命薬科学を通して社会に貢献しようという意欲を有する人 2 研究者、開発者としての倫理観や困難を克服する精神力と体力を育ていける人

学修成果（薬学部）

薬学科	創薬・生命薬科学科
<p>豊かな教養</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語、歴史などを学ぶことにより、外国と日本の文化について理解し比較することができる。 ・英語による日常会話での質疑応答ができる。 	<p>豊かな教養</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語、歴史などを学ぶことにより、外国と日本の文化について理解し比較することができる。 ・英語による日常会話での質疑応答ができる。
<p>確かな専門性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・化学、物理、生物に関する基本的事項を理解し説明することができる。 ・製剤、薬剤、薬物治療に関する基本的事項を理解し説明することができる。 ・数学・統計学に関する基本的知識を修得し、それらを薬学領域で応用することができる。 ・病院と薬局での薬剤師業務の概要と社会的使命を理解し実践することができる。 ・医療および薬事関係法規に関する基本的事項を理解し、それらを遵守できる。 	<p>確かな専門性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・化学、物理、生物に関する基本的事項を理解し説明することができる。 ・製剤、薬剤、薬物治療に関する基本的事項を理解し説明することができる。 ・数学・統計学に関する基本的知識を修得し、それらを薬学領域で応用することができる。 ・医薬品創製と製造の各プロセスに関する基本的事項を理解し説明できる。 ・ゲノム情報の利用に関する基本的事項を理解し説明することができる。 ・医療および薬事関係法規に関する基本的事項を理解し、それらを遵守できる。
<p>創造的な知性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究課題の達成までの研究プロセスを体験し、研究活動に必要な基本的知識を理解し実践できる。 	<p>創造的な知性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究課題の達成までの研究プロセスを体験し、研究活動に必要な基本的知識を理解し実践できる。
<p>社会的な実践力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生命に関わる職業人にふさわしい行動・態度をとることができる。 ・地球環境保護活動により地球環境を守る重要性を自らの言葉で表現できる。 	<p>社会的な実践力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生命に関わる職業人にふさわしい行動・態度をとることができる。 ・地球環境保護活動により地球環境を守る重要性を自らの言葉で表現できる。
<p>グローバルな視野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の国際社会における位置づけを、政治、経済、地理、などの観点から説明できる。 ・学術誌、雑誌、新聞の読解、および医療現場、学術会議などで必要とされる実用的英語を利用できる。 	<p>グローバルな視野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の国際社会における位置づけを、政治、経済、地理、などの観点から説明できる。 ・学術誌、雑誌、新聞の読解、および医療現場、学術会議などで必要とされる実用的英語を利用できる。
<p>情報通信技術の活用力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピューターやインターネットの利用法を理解し、情報の収集・発信ができる。 	<p>情報通信技術の活用力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピューターやインターネットの利用法を理解し、情報の収集・発信ができる。
<p>汎用的な知力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションにより、情報・意志の伝達を行うことができる。 	<p>汎用的な知力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションにより、情報・意志の伝達を行うことができる。